

ところで、IT眼症ってなあに？

10月10日は目の愛護デー！

パソコン、モバイル端末、テレビゲームなどによる影響で、VDT症候群（IT眼症）と呼ばれる病気が増加している。ディスプレイ画面を見続けることで、眼精疲労になり、肩こり、だるさ、首や腕、背中の痛み、手のしびれなどと共に、イライラ、不安感を引き起こすというもの。ちょっと気になる。そこで、地域で気軽に相談できるお医者さんを探してみた。（編集部）

萱島駅近く、ピンク色のメルヘン調の外観が素敵なおよま眼科だ。

建物イメージそのもの、青山さつき院長は、笑顔が印象的な明るくい人柄で、約20年間、地域の目のかかりつけ医として信頼を寄せられている。

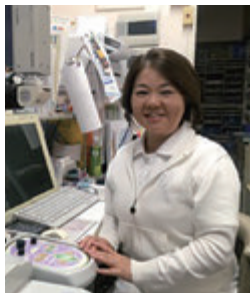
乳幼児の流行性疾患から視

力低下、コンタクトレンズ処方、まつげエクステンションでのまぶたの荒れ、緑内障、白内障、加齢黄斑変性症と、症状は様々。患者層は幅広く、訪問診療も行なっている。

「眼科領域だけでなく何でも相談できる医院でありたい」と語る青山先生。隣接する青山医院との連携を活かし、誰でも安心して来院できる医療の拠点ともなっている。

医療法人 あおやま眼科
寝屋川市南水苑町16-15

☎072-811-3180



青山さつき院長